





木2
號5616
卷

卷
號
五

正校保

本居宣人著

かあくつま

壽美能の藏板

玉露序

せうすくまぬまにへりよ
えひ紫もやうく小鹿を山川にうし
きゆるまく。久米のちらふさくともじ
祠祠はち、小祠祠とこ物物。まよひ乃ち度
たまくる。らふ祠祠も心哉因因じきく。ま
ごはれわぞれわざ。歌詞文祠祠。以集活葉。
此幽語語、うむ、そのどもと、是叶スルく
きさざひ。一松一祠祠も一すうちば。さあま
ス。もみをほづぬれませよなうて。

いよくとて御あまたにそよぎまきの葉。ひと
やうねぬはをさへあたどうらます。よん
ゆく秋ふも。こそあら文ふも。昔、嘗てなこと
がまかせ多うする。共もく、云の葉の邊へ。
うあ、ソク、やびやうねらむとある。歌らひ
まひびきこどなま。ばのせりやうよ。詞
あさともあゆきともうるをばく。歌之の
えびをぬひ。あら花鳥はざまけ歌
らで。うきゆく草、とくせきうごく。老師の
君。どうじゆゆすりを深く教ひて。まよ

おの洞がむろ踏をよのとせへて。そこには
のうされとめらぢ。うゆこよ。かね大石よもひ
まぐる職のよみ。たゞもとせ。山崎う
うれとくまざせ。すぐらむと直とと。ま
たくち。桜のねやのせむらとよ。いやみ先
せいととくへ。えとよものとくねうきて
むと。れりまくねく。耳もむ。秋の因るも
てぬ縞のれまく。人ひく。うの海ひく。
きた。いか。いせむ。高唐もあらすは。かう
絶のよ絶し。けむらと二つの書。よ

まゝいが難波津津香と。父母のやうふそめ
海山のやうへあつま。深くゐれもあらう。
じまうじのまことへとまき田ひいづで。ま
くゆくまくふんてなまこと書をそば

玉わづれ

まねび

おどりうさぐらちをぬれと

有がむ清代のむぎよ。うれにまろのゆきすくあそ。あり
まうじぬきとも。やうくうらうきゆる。めうひぢぢぢぢ。
めれぬぐりまへ。ぬれぬよみのま。またあこえき。そい
ありぬご。おはもえを。おはとばよくもえを。あら
かこせのくろぬきるふ。やすべへかくとせし。もしもくを
きよみんぬりのとく。たうちくやあくや。よくかむ
づ。よだあ一きとよくとくまくとく。おもむくづ。よざれ
ま。ゆるわむたく。おもむくづがむにまひて。あまつ。

よしとお酒。えもんくわむ。つるは。もは。せよぢ方筋くもあひて。
あづまわるのむ。おきとあら。ひとやくいはれども。おもひう
りふ。そも今もと。経おえまくる。人おなじ。ばへうれもしら。きと
らす。ゆくゆくつべけ。今と。後。よく道筋をゆひ。り
せり人ね。ひとよくえあこめむ。りと。もぐりた。そぞが。じや
の。きねが。近きよめけ。うき。うせと。せくどもおさと。せ
うく。うく。と。おこせひ。かく。うく。うく。そく。うく。
ううき。ほり。うく。およみ。おき。うく。も。おきひ。あう。うく。
あきかきと。おき。うく。うく。うく。うく。うく。うく。
うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。うく。
うかき。せめく。せと。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。せ。

中一宿。うれ井。後ちと。集そで。おさひ。お紫風。野の。うの集
きの。おとく。大。う。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。
お。
お。
お。
お。
お。
お。
お。

歌の部 四編

み みのり

ふ さつき

けりの歌ひ下ふやり・をかくす

こゝあうよの宿 せのひ

とくべつぬ宿 は

りぞりぞりそ なみのり

三つのひまわ は

まびまびまびまび

まびら たのむ

かくそかくそかくそ

つるゆるるり たのむ

ふ や

えき えき えき えき

ふ ま ま ま ま

ま ま ま ま

ま ま ま ま

ま ま ま ま

ま ま ま ま

ま ま ま ま

ま ま ま ま

ま ま ま ま

あめの あめの

あめの あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

あめの あめの

あめの

まわやうる 日

そめくこ 日

につの海 日

そとそ サニラニ

庵の面 日

かぶそ 日

ほくる火 大三の火

さじよふ さのま

あまくも 日

そし えのひ

神ふちひ 先やうべ

ちふふや すのま

タカシヒキモ 日

タカシヒキモ 日

さきぐ 大あひ

さしげきる句 まつむ

文の初とあふともゆり まつむ

二つの年 二つの年 日

某がおれ 某がり 三の火

人の名を指そりより 日

まわる某 まわる

大君 日

文の部 四種

そき

某のひ

某がり

某がれ

二つの年

二つの年

某がる者

某がれ

さきぐ

さしげきる句

文の初とあふともゆり

まつむ

二つの年

某がれ

人の名を指そりより

まわる某

まへる二へる 日

むきぐれせりや

ひぐる 日

らづま むさ

あそぶ せりゆ

きりゆる

川とくじる

まを

さくさこ はなり

さほ

ふる 早めら

かのき月

絶え 絶る せりゆ

絶る せりゆ

まひと つるぎる

こむ

まく

まく

まく

まく

さく

時代くわうひあひきすら

あとくわの烟のあらめ ほのくわ

○其様もす 用ひきす ゆきすをせし いふ

三事

方の部

又

月落。ふるむ。かき。風。と。月。の。あ。れ。潮。を。み。た。
の。の。ひ。の。こ。の。ま。と。あ。く。り。は。初。學。が。ま。せ。や。ま。と。ひ。め。す。
あ。近。く。い。ま。く。月。が。落。て。お。ん。だ。と。ま。く。は。月。が。い。ま。く。
朝。が。ま。く。は。潮。が。ま。く。は。と。ま。く。は。月。が。い。ま。く。
月。ド。と。ま。く。は。潮。が。ま。く。は。と。ま。く。は。月。が。い。ま。く。
く。月。落。き。ま。く。は。潮。が。ま。く。は。と。ま。く。は。月。が。い。ま。く。

主

チ。モ。シ。ル。洞。の。ち。り。・。お。こ。ざ。る。か。ま。・。と。う。き
世。新。お。る。道。・。ひ。る。せ。・。き。も。わ。く。と。う。き。道。・。ひ。る。せ。

ウ。ト。ク。の。ち。り。・。煙。ま。死。・。お。と。ひ。る。と。う。だ。爲。不。お。生。て。る。こ
ら。も。く。生。ゆ。る。が。り。・。聲。も。こ。き。る。お。も。く。生。ゆ。る。が。り。・。聲。も。こ。き。
う。と。ク。の。う。と。く。考。く。つ。く。う。と。ク。

尔

近。き。き。く。へ。ま。お。の。じ。け。き。・。松。ホ。ヌ。・。お。ど。お。わ。・。よ。む。・。け。あ。ぐ。ひ。の
風。・。お。お。松。ホ。ヌ。・。と。り。・。お。り。・。い。と。り。・。お。り。・。お。お。松。ホ。ヌ。・。と。り。
人。お。お。う。お。松。ホ。ヌ。・。入。お。う。お。松。ホ。ヌ。・。お。お。松。ホ。ヌ。・。と。り。

や

朝。や。お。葉。・。樹。や。柳。・。草。ひ。る。や。り。・。お。お。お。泡。き。・。お。お。お。
曉。や。お。
朝。お。

らそ。もみが葉とみをあせり。やりてあるまへ

けの数のわふやうに。はく

ちふよひきくも。ひだりに。かうともあくとみ
す。そひきよひきくも。ひだりに。かうともあくとみ
をあくともあく。そのまきあくから。今のはじとくに
るてんある。中お調をへきく。かうとも。はくとも
あくとも。たゞべりあると。あくから。かうとも
あくとも。かうとも。あくから。かうとも。かうとも
かく年月。とくへゆる。かく里より。うきかへん。きくかへん。
年月をゆへゆる。かく里より。やまかへん。かくのゆの
や。音をかへる。古の古文をかへる。かく今のは

かく。えども文をかくよみかくと思ひかくる人も。はづと
あく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。
かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。
かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。
かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。
かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。
かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。
かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。

かく。かく。よす格

まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

まほのとへうすく。洞の玉の珠おうがく。
ありどもぬき

あらわぬ語

もくびがれどもふ。かく月。アリテ。まづ月。アリト
と。初夢お車。アリ。かく月。アリ。シテ。もぐ月。アリ。うどやくよ
むてひよ。アリ。ハナド。アリ。語。アリ。瓦壁。アリ。ふとつ
若々。ぬの。アリ。おれの中よ。ぬの。アリ。とおまく。自也。ア
リ。ひひじ。アリ。朝もあ。アリ。モモ。アリ。日と人。アリ。二
と。アリ。日と人。アリ。日と人。アリ。日と人。アリ。日と人。アリ。
も。煙のあひづ。アリ。煙。アリ。煙。アリ。煙。アリ。煙。アリ。
と。初夢お車。アリ。うどやくよ。

卷之二

あてとおもひのまゝをうながす。徳うじてはまつた
うきよのまゝをうながす。人間のまゝをうながす
まゝとおもひのまゝをうながす。おもひのまゝを
かねておもひのまゝをうながす。おもひのまゝを
おもひのまゝをうながす。思ふとおもひのまゝを
おもひのまゝをうながす。思ふとおもひのまゝを
おもひのまゝをうながす。思ふとおもひのまゝを
おもひのまゝをうながす。思ふとおもひのまゝを
おもひのまゝをうながす。思ふとおもひのまゝを
おもひのまゝをうながす。

□ なまくらの詠

まくらがくそ。おもひのまゝをうながす。
まくらがくそ。おもひのまゝをうながす。
まくらがくそ。おもひのまゝをうながす。

どふ。まくらをうながす。まくらをうながす。
まくらをうながす。まくらをうながす。
まくらをうながす。

□ うそ

まくらとうそとうそと。まくらとうそとうそと
まくらとうそとうそと。まくらとうそとうそと
まくらとうそとうそと。まくらとうそとうそと
まくらとうそとうそと。

□ うそ

まくらとうそとうそと。まくらとうそとうそと
まくらとうそとうそと。まくらとうそとうそと
まくらとうそとうそと。まくらとうそとうそと
まくらとうそとうそと。

やの音をかきのてあわせおもての音をとる。また
またおもかづけ。よそのやのてはうへ。またおも
もおもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。

おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。

詞二三のりふよみ

あくべんじゆく。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。
まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。まくら。

善利あり。善利あり。とくに。善利あり。善利あり。
りと同じ。善利あり。善利あり。とくに。善利あり。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。
おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。おもかづけ。

スリセリトシム。シテアリトモアリ。ハ
トツヒテアリ。アリ。シテアリトモアリ。
ラル。シテアリトモアリ。ハ
キニ。ナニ。初學。新草。ナニ。ツル。シテアリトモアリ。
セシ。トシ。アリ。スル。或。シテアリ。トシ。ヒテ。ヨリ。アリ。トシ。アリ。
シテアリ。トシ。アリ。セシ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。
シテアリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。

ミヒミヒミヒミヒ

ナシ。セシ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。
ヒヒ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。
セシ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。

ミセシ。シテアリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。
トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。
トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。

ミヒミヒミヒミヒ

アリ。セシ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。
トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。
トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。

ミヒミヒミヒミヒ

アリ。セシ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。
トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。トシ。アリ。

月引を残すやかすれども
ちむらの人に言ひてん

まのへ。一つふるはく。おもむくとくへだつて。わざわざおもむくとく
かまうとうよもひ。おもむく。又風よ煙よ火よあことじよがまと。火のへ
らぬく。火。明りとく。是も圓ぐ。自然のへどく。自然のへどくある。行はる
ひゆき。おもむくとく。あらわす。おもむくとく。あらわす。ま
自然のまむらをそく。さびしき宿もまみけまじらるあらわす。ま
みおとへの語をそく。二つさうふはうまくる。

〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕

〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕
おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。
おもむく。おもむく。風よ煙よ火よ。月の火やうがむとくはりまつむ。ま
まおとへとく。月の火やうがむとくはりまつむ。ま
風の火を吹く。おもむく。おもむく。風の火を吹く。

12

〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕
おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。
おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。
おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。
おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。
おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。
おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。
おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。
おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。おもむく。

〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕
降らせてまよけふ降ぬあ
すきへぬくはあめつてひ
たままで立油井川をなせ
すまくを思ひてほのく
降らせてまよけふ降ぬあ
すきへぬくはあめつてひ
たままで立油井川をなせ
すまくを思ひてほのく
降らせてまよけふ降ぬあ
すきへぬくはあめつてひ
たままで立油井川をなせ
すまくを思ひてほのく

きの歌はばくも。さかみくわねまうとくとくゆせんをばく。あ
すけたうふ。えきりもそひくまほやうのま。こくへ。まくうだ
とうきみふらう。あくふちをようこめく。こくはなを。まくうだ
かやとりう。らきがまのまくとく。まくうだかやとりう。まくうだ
かふとりう。せんへ。折せ三つの泡吹ぼうひざまく。むらにあらを
たれども。あくいきくまくまくまく。まくがまくまくのまくまく
まくまく。たまくまく。

まく

まく。んスギキビト。とくとくとくとくとく。せまく。んス
ギキビト。とくとくとくとくとく。せまく。んスギキビト。とくとく
まく。めとく。かく。あと。えぐ。あとのまく。おとと集め手

十三

歌のまく。かく。とくとくとくとくとく。まく。とくと
く。まく。とくとくとくとくとく。まく。とくとくとくとくとく。
まく。とくとくとくとくとく。まく。とくとくとくとくとく。
まく。とくとくとくとくとく。まく。とくとくとくとくとく。
まく。とくとくとくとくとく。まく。とくとくとくとくとく。
まく。とくとくとくとくとく。まく。とくとくとくとくとく。
まく。とくとくとくとくとく。まく。とくとくとくとくとく。
まく。とくとくとくとくとく。まく。とくとくとくとくとく。

まく

まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく。

130
はととよどきと。てとひとあら。あぐるをくわくま。てと
りよどきと。つとひと。あぐるとちか。131
せう。わのうをく。つけうめあらふ。うのうともあら。くわ
くわうをく。うのう。かうやまのむらおうがや。えうす。
このうをく。うのう。おうじき。おうじき。おうじき。
おうじき。はうじき。おうじき。

歌

132
おと。伝ふ。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。

おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。

歌

133
根をよこへ。うみに。根をよこへ。うみに。根をよこへ。
根をよこへ。うみに。根をよこへ。うみに。根をよこへ。
根をよこへ。うみに。根をよこへ。うみに。根をよこへ。
根をよこへ。うみに。根をよこへ。うみに。根をよこへ。
根をよこへ。うみに。根をよこへ。うみに。根をよこへ。
根をよこへ。うみに。根をよこへ。うみに。根をよこへ。
根をよこへ。うみに。根をよこへ。うみに。根をよこへ。
根をよこへ。うみに。根をよこへ。うみに。根をよこへ。

134

をの。数をりしむ。おひくと。とくに。おとこ。おまかせ。おうち
と。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。

おとこ。

湯宿ち。おとこ。集落。新宮。おとこ。里の。おとこ。おとこ。おとこ
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。

よ

ち。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。
おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。

おとこ

おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。おとこ。

やへきえつへとせぐ。つまびらきしゆま。葉の葉やくぬといふ。
さくはけうとせぐ。さくはめめうとせぐ。さくはめめうとせぐ。
さくはめめうとせぐ。思ひうてそゆうぬやうだきをかく。やくぬ
は皆かくのまく。御とをせのへる。うねりにあわててむす。やくぬ
きくわくと。おのたまめと。まことのこふひく。やくぬ
うねりにあわててむす。うねりにあわててむす。うねりにあわてて
きくわくと。おのたまめと。まことのこふひく。月のまばたぬと。入やうで
きくわくと。おのたまめと。まことのこふひく。がくしをひ
月ととへきうとおとせぐよがよ。

おもひ

まかくらとおとせぐと。まかくらと。まかくらと。まかくらと。
まかくらとおとせぐと。まかくらと。まかくらと。まかくらと。

まべて まくらのめきをとまへてまほをほす。まくらと。まくらへ
おて まくらとめりひとよんとめりひと。窓のまくらと。まくらと。まくらと。まくらと。

まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。

まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。
まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。
まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。

まくらと

花の日をやさしくうます
えす月をひく

やくぬへ。信うるものまく。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。
まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。まくらと。

をうてまゐるといへばいえ。ゆゑとせんへ。行すく邊ツテ
りあらむとも。ほきう。からぢて、美面ふうも。邊は毛面
まつまつちゆ。思ひまつまづ。たのまえ。まつまづが。

稀ハレ 喜

ちかま。稀ハレとまづく。語るあわし。あへ年頃
まつとら。年ぐく。稀ハレくおくるてみ。年頃とまづ
は異ある相アザ。かどと種シロと一つとまづく。へとまづ
をとくのゆき。色ひいてよひ。色もひうて。ナズ
ゆくかくゆく。うとうとだりひく。稀ハレくゆくとまづ
たらよ。種シロへふすとまづく。かとまづく。ぬ泡ヌバ。さね
ふ月夜ムカニのうふ。月夜ムカニの種シロと。色方シロガタとまづく。かひてらも。りとまづく。

はくとまづく。風とまづく。日影とまづく。あひ形
かづく。

狂ハグ

ひくとまづく。このゆきとまづく。高の浦コウノウとまづく。或も人のゆき
とまづく。さざなぎとまづく。月影とまづく。色もまづく。
こまづく。初ハ。立ちにまづく。ぬくとまづく。

狂ハグ

近世人の音オト。音オトとまづく。音オトとまづく。
そへ音オトとまづく。音オトとまづく。音オトとまづく。音オトとまづく。

狂ハグ

生やいとまのをさきは
たくめん
たやまちてまつだきうと
あらきをさき

むしる。まことうらうに用うてひかず
たまふ。ときせん。まこと月を何うす。あくべり
てよだすと。まことよど。ほなまき。せん。

ソシム。あまき車ふまれ。みとあくまきゆとおよ。をせ
そん。或も花のもとをり。人のみぬをり。ヤドヒナ。もとてり
と思ふことを。せりとくみ。とくじゆわ

のうそ。そがのう。わきのねたよ。和室の車す。
車うそ。まくはりうそ。とののね。まくはりあ
まくはり。まくはりうそ。車うそ。車うそ。かくはりうそ。車うそ
まくはり。まくはりうそ。車うそ。車うそ。かくはりうそ。

まくはり。まくはり。まくはり。まくはり。

太

る。うたとよざと。はねとつぶつぶ。うたとと同
トかげ。ちとまよ。福路ふゆう。かくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり

る。うたとよざと。はねとつぶつぶ。うたとと同
トかげ。ちとまよ。福路ふゆう。かくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり
かくはり。まくはり。まくはり。まくはり。まくはり

思ひぐまき

あらわに信よ。思ひやうのあいとおはなへ。此想も發せぬ事。尋ね
は撰集を二。三。うするがちとて、又はう思ひ、心地好く人なり
しゆ。そん。おほきもよかうだり。おやうあくもひだり。おひやうだり
ほれとあくみうりゆく。おととせせふ。思ひやうかく。おととみうり
ゆく。おぼうが。おととせせふ。おととせせふ。おととみうり
ゆく。おぼうが。秋の朝月。おととせせふ。おととみうり
ゆく。おととせせふ。おととせせふ。おととみうり。おととせせふ。
年。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。
おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。

アラハシ

これハ人の心が死絶を爲す。交もつぶるが爲す。活よつ

タ

アラハシ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。
おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。
おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。
おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。
おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。

アラハシ

アラハシ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。おととせせふ。

タ

りあら。こまかにみる。かのうのうへとひ
おかく。あると。あらかじめ。
きく。おゆく。よへゆく。とある。へとおゆく。おゆく
ゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。
とある。またとある。おゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。
よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。
よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。

おゆく

おゆく。おゆく。つゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。
人の。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。おゆく。

よへゆく

よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。
よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。
よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。

よへゆく

よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。
よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。
よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。

よへゆく

よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。よへゆく。

よへゆく

ひきつもて。おゆく。ひきつもて。おゆく。
ひきつもて。おゆく。ひきつもて。おゆく。
ひきつもて。おゆく。ひきつもて。おゆく。

あまくまく。あまうてとくよくとくよく。のどちへふもぐがぞ
もじかまく。道をくとく。ひきのへんつうど。そが下とくもりとく。お

うくあくふなん。

四つの海

四の海とうまく。やめくとくよくとくよく。ちの奇
えとくまく。四の海とくよくとく。に海とくよく。に海とくよく。に海とくよく。レカナ。四の海
とくよく。四の海とくよく。四の海とくよく。四の海とくよく。四の海とくよく。四の海とくよく。

あまくまく。あまくまく。

五の風

五の風とうまく。五の風とくよく。五の風とくよく。五の風とくよく。五の風とくよく。五の風とくよく。五の風とくよく。五の風とくよく。五の風とくよく。五の風とくよく。

すうくまく。風とくよく吹ある風とくよく。風とくよく。風とくよく。風とくよく。風とくよく。

そとむ

そとむ。日を紀の威勢をとくの情をあ。背面とくよく。背
のうなふと。情せむ。外面とくよく。情せむ。外面とくよく。
うなふと。情せむ。外面とくよく。情せむ。外面とくよく。
うなふと。情せむ。外面とくよく。情せむ。外面とくよく。

そとむとくよく。外とくよく。外とくよく。

聖手を 座りせ

聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。
聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。聖手を。

唐詩

もをとて。いのちとて。きのとよみと。面とよみと
用やく。えうふよみと。まゆとよみとあらう。ひめび。

みどり

みどりと。近世の奇ヨミハ本
ノイノヤウニヨリテ奇ヨメルアリ
カコト也是ハのきの下ニカキレリ
西宮記ニ至仁壽殿西砌下洋舞
以西不立庭中トアル見せ

みどり草四
みどりと。近世の奇ヨミハ本
ノイノヤウニヨリテ奇ヨメルアリ
カコト也是ハのきの下ニカキレリ
西宮記ニ至仁壽殿西砌下洋舞
以西不立庭中トアル見せ

を織もの。用もなれ。物とよみとせふ事。りん。

みどり

みどりと。樞木とて。もみまきのほそく。かと紫葉とぞもどく。
えみとふよみと。さわやかなとおもふよみとれど。いはむくべ。

みどり

みどりと。とひ。櫻木とて。もみまきのほそく。かと紫葉とぞもどく。
えみとふよみと。さわやかなとおもふよみとれど。いはむくべ。

】もとよみとくよみと。ほりと別よまとあら。鉤簾とも。
どと。狗簾とくよまと。あらとあら。

ほる火

】もと。初學の草の寺。かるとくよまとあら。くほよす常
火と。うるまと。さあくよまと。かうと。うるま。壁火
あるふと。うるま。常火鬼神とある。行かむのか。うるま
とよもよも。うるま。うるま。常火鬼神とあら。

まとむす

】まとむす。漢文も。壁火のうらへ。まても
かく。はなづかまと。或ひ玄室。或門。或は里の入口を
まとむす。近所とすと。まとむす。まとむす。

りそば。御まつだ春ひあらそひ。門により里の入らるどすてりそ。雪
のちかくとそ。雪のあはれりそ。まつゆめあるのこにあらむとそ。
さくふきのあらそあらそねばへ。歌ふ慶賀迎春かどあらそ。
ほえん。おとこ歌ひ。津の音ある事多ければ。もえまおはせそ
うやかくとそか。御まつだ春ひあらそひ。まつゆめ信傳
あらそひ。奇かく文ふみあらそひ。まつゆめいそがく。
一。四トあらそひ。案着あらそひ。おとこむすびあらそひ。
おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。
おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。
おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。

「不善の心の事のあらそひも。冥の事のあらそひ。おとこあら
そひ。人の心とおとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあら
そひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあら
そひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあら
そひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあら
そひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあら

とひよか

とひよか。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあ
らそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあらそひ。おとこあら

中

心の事のあらそひ。中の事のあらそひ。心の事のあらそひ。心の事のあ
らそひ。心の事のあらそひ。心の事のあらそひ。心の事のあらそひ。心の事のあ

まへり。神の御心。御心。御心。御心。御心。御心。
まへり。御心。御心。御心。御心。御心。御心。
御心。御心。御心。御心。御心。御心。御心。

神ふらひ 神ふらひ 神ふらひ

神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。
神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。
神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。
神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。
神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。
神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。神の寺。

おもてはり。和光同塵。おもてはり。おもてはり。
おもてはり。おもてはり。おもてはり。おもてはり。おもてはり。
おもてはり。おもてはり。おもてはり。おもてはり。おもてはり。
おもてはり。おもてはり。おもてはり。おもてはり。おもてはり。
おもてはり。おもてはり。おもてはり。おもてはり。おもてはり。

神ふらひ 神ふらひ 神ふらひ

みよ壁に通ひ。美至母也。みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。
みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。
みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。
みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。
みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。みよ壁に通ひ。

四月のひまわり

口
器を不有めよりひくま。ソシトトウケ。アリト。あるま
シテヒタマヒヨウアリト。モサヘ。アリタマヒヨウモ
トリキアモルヒタマヒヨウ。トボク。

タの山

タと云ふ事ひある。既に之を以て候事無く、其の如き
事は、何事か。候事無く、其の如き事は、何事か。
事は、何事か。候事無く、其の如き事は、何事か。
事は、何事か。候事無く、其の如き事は、何事か。
事は、何事か。候事無く、其の如き事は、何事か。

卷之六

みかの魚と。さあ。おまこ。七か月。おもむく。

する句よつとを。にのうりとてあるも。とのゆひゆび。またも
と思ふ。とて、あるえ。此例まへ。かきうねづんとくとへ。次の句へ
はくとく。たきくとく。ちよくとく。ものやくわいとくのほの内がく。
の。がくふある句があいじく。よもまへきく。

とくせの人の。ゆきのふともとが。たが。種まくと。
もゆる。ゆる。わざわざある。と。お風かぜ。ゆく
といふ。えよ。と。いふ。お柳かな。よし。うめ。
えの。用。うながす。うながす。
ゆるはよ。と。いふ。うめ。うめ。よし。うめ。
あめ。いふ。入江。うながす。うながす。うめ。

のくろひの泥。うどまきをもむと。セナムキよ。里合はまく日
めをあかとよむ。かたの泥。わらぬと。風やまどりまや
ねむる。〔〕
シトリ。〔〕
ハ・シ・カ・リ・モ・リ。帆のまよ。よへまよ。
シ・カ・リ・ヒ・ダ・ス。又帆をたぐと。そ
シ・カ・リ・ヒ・ダ・ス。帆の用をも。そとまよ。〔〕
シ・カ・リ・ヒ・ダ・ス。油涼のちふ。〔〕
涼しき。涼れどもあ。〔〕
とがふ。又まとひとひとひ。

すよくさんと。まづくらうと。まよひ。人無よとうじ
ちくふ。いとくらう。まづくらうと。まよひ。人のつみよう
らん。みよひへきあひだらうと。まよひ。ばよひ。ま
も耳か一さ。経ときへきをまへねど。まよひ。まよひ。て
隣へそくと。まよひ。隣へそくと。まよひ。まよひ。隣へそく
し。アよや物の丁ながえ。つやくすりやか。経とき。
拂衣のむる。まじうへそくと。まよひ。まよひ。まよひ。
のまよひ。考相くよひと。まよひ。まよひ。経とき。云寒風。云寒風
とき。ふ。こまくまうた。経ときと。まよひ。まよひ。まよひ。
経も。或へねえも。経も。とアモリ。まよひ。まよひ。まよひ。
経も。経も。とアモリ。まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。

拂衣のむる。まじうへそくと。まよひ。まよひ。まよひ。
のまよひ。考相くよひと。まよひ。まよひ。経とき。云寒風。云寒風
とき。ふ。こまくまうた。経ときと。まよひ。まよひ。まよひ。
経も。或へねえも。経も。とアモリ。まよひ。まよひ。まよひ。
経も。経も。とアモリ。まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。

おまよ。おきかや。とつむひ。おとせむを。ハタうちがや
とりよ。おも。せんとあをぐ。あの間が。おもがとあひだら
も。とおせえまくすま。おもがひあすうあべ。

おーげかわ

おまよ。おきかや。とつむひ。おとせむを。ハタうちがや
とりよ。おも。せんとあをぐ。あの間が。おもがとあひだら
も。とおせえまくすま。おもがひあすうあべ。
おまよ。おきかや。とつむひ。おとせむを。ハタうちがや
とりよ。おも。せんとあをぐ。あの間が。おもがとあひだら
も。とおせえまくすま。おもがひあすうあべ。

おまよ。おきかや。とつむひ。おとせむを。ハタうちがや
とりよ。おも。せんとあをぐ。あの間が。おもがとあひだら
も。とおせえまくすま。おもがひあすうあべ。

このお宿の匂うる。あふへい。さんどく。よもべ
をうへてたれ。ねてびひゆき。あらまく。てひくよじ
きゆうがれあざとや。とくとく匂ふ。つとあらわに。よ
めべとすじ。よくもひくも。一ぬり。さくらん。ぐるよ
くち。とくが。よもじがまかじ。りきつ。の
くらうらうをみへあり。清よき。まくびとく。ゆと
きれせん人をきのうの人の。せうへくとくゆくゆ
くまかもく。かくじ。人をまきひとも。いとくふきのく。うへ
きくらうか。ひくわくも。くらう匂ふ。くま
くまとくとく。とく。あくともよくむすぶ。くもくのとのく。
かくじ。あくとく。今もほのまよ。くもくく。くらう

りよそや。きくよみあらわす。ソレもうちたる後も。ま
さとが。スリフルアラウトのう宿也。かねひ多く。たのゆ
せたるゆゑ。中ふうきよめのゆび。ほのゆ
しのえあも。とくらうだよどた。まことのゆ
ゆを。アヤマシよとくとく。かくもぐらづか。

文の網をみるよも

國より船を出申あも。文書尔用もく。奇うともうれしも多し。
あへぬをゆきをやうゆくじよとん。船をかづくも。奇うへゆうゆくの船
う。とくべつ婦とのことをい。ちのうれあなむ。おぐくまづき隊
きのよも。ゆとよとく。或に別れをもつて大乃橋までな
どせうふ。橋を踏みゆくをよせしてともうかね。まよ歸る

といふ。まくとくよとく。よそへとくとく。アレヒテ。文書は
產のよもれど。ちのよれがく。をくとくよとく。ちふきよとく。
きくせうとく。大々けいとくとくよとく。とくとくとくとく。
りくとく。おとくへとくとく。あ産の傳とくとくとく。
せうとく。おとくへとくとく。文書をもととくとくとくとく。
おとく。おとくへとくとく。文書をもととくとくとくとく。
まくとく。おとくへとくとく。文書をもととくとくとく。
おとく。おとくへとくとく。文書をもととくとくとく。
おとく。おとくへとくとく。文書をもととくとくとく。

いふ事は如く。きく人へも見えぬ事と見てるや
一すまうは。かくと申せん。

文の部

大をさうむさする事無事な事多矣。とて
さううあらざる事など従じる事。其に見ゆる
こと不つてか。文にあらざる事。つれぐれす。さうう
えの事。絶と。二と三と。三と四と。物のも中不も。ひどことあり。か
かくまよとの匂づひとえても有り。おそれて世の匂ひ。ひく
跡の手筋を身に付けて後輩の身まと。とてまたまく。人の
ミヤビト

三

をく。「不承ふハ。つまうや。かくそえぢく。」
のく。もく。のく。

三

文のうれど。きくと喜び。達子の夫ながくとぞ。
しゆうの達子も、いかがおもひとぞ。やくも、
えのうど。たばこの物も、かくとぞ。

三

序をうのいとおもひとぞ。あともほえま。つま
かくとぞ。もくとぞとかこと。河のつまがりひざか。思ひなが
わあねだ。かくとぞ。かのま文のあうと。きのよきだ。たゞがふ。
せうへ。まくとぞ。もくとぞ。もくとぞ。

三

きく。序文の便つさを用ひて。すなはちおこづかふべし。と
いふ。うそだ。新々とあらばもふ。やくふまほえのゆゑ
うんよう。信度ならむてそぞくへみえん。りへとあうとくふとへほ
りと。若ようかうむれど。特別あくまど。云ふと。二事ともう。助辞をなす。
必ずもとまふらう。まく。空國乃よかへざまうは。

りひがに

近世人序が珍しい。かくばのゆゑに。おとやかひく
ひ。その御詞と。りよみとと思ふ。りよみと。あたは。信
度ふりのぞだらうと。おとよみ。御よみびらひゆゑと。お
でたまし。よそぎよしりと。よそぎや。

二の年 三の年

今まく。文のまく。いわゆる年号とまく。元年と

とかく。せきよ。二年三の年と。ゆうのゆつめと。かく
く。中昔の文すも例もなきと。空國のゆうひまふらう。かく
う。まくふりひて。年の二つうつだる。まく。二つうつ
みつの指と。二つ。月二つ指のつて。まく。又。寛政の二つう
みつ。寛政とりへの。空國のゆうひまふらう。と。それ。二年二
年う。まく。かく。二つうつだる。みと。まく。まく。かく。べく
り。スも。まく。かく。二つうつだる。まく。まく。かく。べく
と。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。かく。

某の年 三の年

ゆきさん。文のまく。うづくまふと。おとやかひくと
かく。せがひ。うづくまふと。おとやかひくと。おとやかひくと

てのくじかどくゆる。死ぬてまへ。からむとまへ。とひのく
あつひかよき網すと。かぎ人の事とまへざる。からむ
こゑるてもだらね。

いのきせ

きくらびやく人。文の中よ。さうめがたと。あひと來。うなぎと
くじか。ここちの月とかく。えの名をかく。行きあらはと一つあ
ざき。かひくこりひも。えをとけむ。左へお例ちれて。左へ済へ
右へ安東へかへやうと興ひる。さしこそとらむがておこへ。りそむ。瀧子
くま。ふうのくま。吾予僕きだりくら。えにてれせを。ほしのえふ。引
きかず。この瀧子くま。くま。瀧子くま。すみくま。うそくま。うの
くま。うのくま。瀧子くま。うのくま。おきゆえます。
のうりくま。ふくま。くま。くま。くま。くま。くま。くま。くま。くま。

人の名とまへざる

人の名とまへざる。名とまへざる。それき
え。死ぬてまへ。死ぬてまへ。死ぬてまへ。死ぬてまへ。
と。殺すとまへ。殺すとまへ。殺すとまへ。殺すとまへ。
と。殺すとまへ。殺すとまへ。殺すとまへ。殺すとまへ。
と。殺すとまへ。殺すとまへ。殺すとまへ。殺すとまへ。
も。人をほらとまへ。人をほらとまへ。人をほらとまへ。
も。人をほらとまへ。人をほらとまへ。人をほらとまへ。
人の名とまへざる。殺すとまへ。死ぬてまへ。死ぬてまへ。
死ぬてまへ。死ぬてまへ。死ぬてまへ。死ぬてまへ。
死ぬてまへ。死ぬてまへ。死ぬてまへ。死ぬてまへ。

一代のくじかどくゆる

某の歌者

もどく人の多きをり。其の事より是と云ふ人ぞ。
或ひ曰く某と云ふ者有り。ちどり者と云ふと。之にちどりの人乃至
某。某がる人云々。某がる者の多くかく。けがるといふ也。之
へた儀く。是も漢文のと年の訓也。有^リ某者と附^スと。之す
はく。はく。をく。をく。をく。をく。漢文も如き訓也。トイフと傍付
て。有^リ某者と云ふ。之をもよそと云ふ。之を年と云ふ。
ちくらふ。ちひて云びかねよまむ。ナルモと附^ス。ヨイフ
ゆりひくはくねて。之を漢文もととがくもと。傳ふの文也
え。まもと云ふ。ぬまことか。形^ハ。りくあみのつ。ゆうわくも
絶えを。ちの文也。ちの中れ引人。或^ハ正引也。ちくらふ
人。バ^ハ引者也。官又比名を云ふ。形^ハと云ひ。そん中
かく。かく。かく。

の官をちる人。江戸居す人。どうぞと云ふが。まくは、分
多^シ。江戸業^ハかく。人。江戸業^ハかく。老。ちどり。例^ハく。あく。
ちりひて。江戸業^ハかく。人。江戸業^ハかく。者。どうぞと云ふ。まくは、
と云ふ。江戸業^ハかく。江戸業^ハかく。も内かく。うと年の
人。江戸業^ハかく。江戸業^ハかく。うと年の。江戸業^ハかく。
かく。かく。

まくは

今世の人の文也。あるが多^シ。人大抵の人の文也。あるが多^シ。
はく。某とかく。大抵の人の文也。あるが多^シ。ちくらふ。と云ふ。こちどり。
脚^ハと云ひて。江戸の人に。今時江戸居。近頃江戸居。江戸居。
まくは。江戸の業^ハかく。業^ハかく。業^ハかく。業^ハかく。業^ハかく。業^ハかく。業^ハかく。

あとのとひだ。とくに歌をやうふらむとゆき。やくもいふる
べ。ゆくを経よどみへ。本よみの人のも。おとこすまし。おゆ
ちくじ今へとおもとゆえぢん。

おうさ おどろ

今せんおどりとひをば。傳くるやうらむ。多くおもく又
おどろとか。これやまほろし。まきと集の初と。又おどりとひを。
皆おどりとひを。おどりとひを。又おどりとひを。又お
どりとひを。おどりとひを。伝くるやうりとひとおどり。
おどりとひを。おどりとひを。おどりとひを。

おとま

大きなわ。おどりとひを。天皇とおまつ。ちくに親王おまつ

二千八

て。お皇亂あく。臣やの氏うらかく不かぎりてせひは是す。
いふ貴とひを。是下れ民すくとひ。やせすくとひ。御と
令給人の文。りきかも己がゆめとひとくとくとひ。ふぐく
大君とかく。らきく。らきく。らきく。

かき

賜ふくおづきどり。がく。件とひとひと。おももひとひと
ど。様そとひとひと。がく。とひとひと。のまつひと。がく
とひとひと。はひと。例か。たまびとひと。あひとひと。
御とひと。ゆくとひと。おお葉すくと。がく。もとひと。人
のひと。あく。おとひと。おとひと。おとひと。妹
がく。妹がく。妹がく。妹がく。妹がく。妹がく。

かく。物をくのへ。まだけうとくとゆむと。あう
そくゆうとやうかことりむ。

音一三三二

音のねく。そとくのへ。一三三二三きやどり。例もようとくとも
すと。いそくとそと。ちと。ちと。一三三二三きとそそと。ちと。
音一三三二三きとそと。そと。そと。そと。そと。そと。
〔〕ふおのなみべへつ。などもあ。りそと。そと。そと。
えをそと。そと。そと。そと。そと。一三三二三きとそと。のと。のと。
そと。そと。そと。そと。のと。のと。のと。のと。のと。のと。のと。
そと。そと。そと。そと。そと。そと。のと。のと。のと。のと。のと。のと。のと。
やあへし。かき。ち様とぞとぞ。ひそ。ひそ。ひそ。

手六

かき
みづかき。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。
べく。あれひと神代のまよ。ひのね。ひのね。ひのね。
ゆうこん。あく。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。
ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。
おれち草。祀侍ふくらへくらえ。

かき

けく
けく。あく。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。
く。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。
ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。ひのね。

かくど。ちたり紀よ。うる人あぐれにとせんせんとてらす。貴
きくも。ちのゆきをもとむるほどとらへ。おこはまく
くじへ。あむにわくへい金をりて削たす。あや縣のれき
き。まつめ。古事記傳成勢のきの湯巻ありす。

ひづる もく

くびせのく。まくまくと。おひだりまくまく。おひもく
おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。
おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。
おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。
おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。
おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。おひもく。

三十一

とかくへ難小豆へ。今ハ大のやふ二つから六枚すみ。毛豆を
ねまく。まの豆をねまく。まの豆をねまく。まの豆をねまく。まの豆を
ねまく。まの豆をねまく。まの豆をねまく。まの豆をねまく。

ひづる

くみくみ豆文。お野菜をたまご。野菜おのと豆をかぶつて。海文
の豆をねまく。お野菜をたまご。野菜おのと豆をかぶつて。おのと
一ふたごとお野菜をたまご。お野菜をたまご。おのと豆を
ねまく。お野菜をたまご。お野菜をたまご。おのと豆を
ねまく。お野菜をたまご。お野菜をたまご。おのと豆を
ねまく。お野菜をたまご。お野菜をたまご。おのと豆を

ひづる

うきひこがくと。道をくわだひをまくると。おのと豆をねまく

春くまがくらすと。白雲うる

人のうきあひとえり。舊の日紀のへと。からすらう。さう
死ぬる。

川をさむと

川をさむとしひ。川の瀬とよもじらひとまく。ゆうとぐのく。
舊の日紀をよ。川をくてもみどかく。みつたもうくとも
うへくからほどよ。こゑうとくほくと。むくは海川。移り
まわるよ。まき行ふまれ。まくと。そしひまし。ひはあきと
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。

まきと

今人。まきのうちよ。某の七十^をとよ。まきかくら。
かくらとくと。漢文^ハ。四十とよ。まきのく。七十。かくら
しよ。物^{ミヒコ}うがんけ。宣^{クニ}とゆく。まきいもひと。まき
がくり名月^ハ。うむるぬ泡^ハ。まきと。まきと。まき
まき。まきとまき^レ。とまきと。まきと。まきと。まきと。七十。
まき^レ。まきとまき^レ。とまきと。まきと。まきと。まきと。
まきと。まきとまき^レ。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。

まきと

まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。
まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。
まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。
まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。
まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。
まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。まきと。

とづれとくふことぬへ。とくふてはまの御おうえ。洞のまこと等
こと。ゆゑひとむかわ。とくふだ。

ハミホ

をきしろび人。古書おたる功字まこと。りきりとよも。みやう
が文もゆく。こき得く。りきりとよも。みやうと
りく。みとく。かくし。用ひて筋のとくよとてらむ。筋より筋
いきく。みくへぞゑと。筋よりくぞゑひと。ちかひとくへ
らかへて用ひよとせのとくよ。りきりとよも。みやう
回筋の筋え。筋より筋よりとせひ。りきりとよも。みやうとくへ
いたすとくすへぞゑとくよとくよとくよとくよとくよとくよと
もくよとくよ。又假字も。二代実錄の中記宣命令とくよとくよとく

うと。ちくかとかく。こきく。得く。

ヒミホ

ミホとくふ。伝きよきふよア達あとくよ。どこの事も。ま
すみのとくふ。多きをつひやくねくの筋え。筋よりを傳
達ふまく。おなじく。筋よりとくふと。とくふとくふ。
とくふとくふ。とくふとくふ。筋よりとくふとくふとくふとくふ。
とくふとくふとくふとくふとくふとくふとくふとくふとくふとくふ。

かいつきて

書体と。かいつけと。りか。後の音便うそ。かくし得う
ざと。かくしつくと。かくしつくと。かくしつくと。かく

石津亮澄かくしと。三と。の
字三代実錄のとくよとくよとくよとくよとくよとくよと
竟寧可く見る。アと。とくよとくよとくよとくよとくよとくよと
葛サ省林清聖日臣命をよ
く伊佐遠高久多院斯
源知乃於牛血斯佐斗生原
和我那毛岐徵波多赤比斯

もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。

やうる。たとかくわざふ。そぞく跡跡ふ。もくはせむへ。もくはせむへ。

きこゆ

人よおすひと。まゆくよみだす。まゆくよみよくよみく人よ
もとちうあす。あらひ回転どちらめうちあす。よすよすてあ
と教ふ傳ふ用う廻え。若者のお傳すふいと多し。さておやく。
廻のしま跡をすまもむ。とくばお傳すむ付キるむのまく。

四十

もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。
もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。もくはせむへ。

けり

を世人。もの廻ふる。かまうじゆふとゆて成るざれば。雅傳子
のうだまうやうおらひく。おめでくまう一のほよみ。ゆうじゆ
のゆ。よみてかく。おくゆゆうゆどかく。あくねどかく。三べく

内と外と。つゝへまえと。つゝまど先文と。みゞくすりへま
じきん。ともあら。こもんへよ歸して。駕籠をよ詰の肉船。こかう
まつこくらすふ添て。りと詰え。かくをかのをとくひてよ
みゆうりよ。詰詰よ。座のをとくまくよ。やうそくがくうす
とくよ。固ト。約ひ。け詰詰のモ。とらひ。まくまく。りふら
あく。ちまぐ人のをとみりひやかくとく。いくともちべー。き
れくとくとくべうび。ももだくぬく。お文まうい。一つもかくべさ
くわく。ゆくとくせ人のやく。行のこなまくも取く。さくふ御
御とくかくい。ゆくが奴僕かくふ討ても。老とくへやくても
まくとくとくとくとくとく。とくとくとくとくとくとくとくとく
をくかくをく。くく。おの泡うちのくうじ。もくとくのくう。

おのうはあるぞ。おとあ徳ととくべ。お泡。人と人を
詰詰詰の肉船。りくらむちくをきうて。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。奴僕をくふ討て。りと詰す。おとく
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。

とやうか。又新吉くま。後鳥海みことおはくのちや
うさふ。是もけの御づくらふ。もろもろあひすまづくらふ。
かうとびの御づくらふ。もろもろあひすまづくらふ。
どもの例をきくかきくとぞよ。ひくみくの集
の集をうまとくふ。寺でけの御あると。寺のうちふとく
かうとび。此御うまとくかとおとおとおとおと
集多くて。おやけおまう。おとくでも。おとくても
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく
く。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく
く。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。

御

御

御。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。

御

御

おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。
おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。おとく。

御

御

ホ・うとふとかくもまかし。まきはきを便ひき。うと用ひま
例へ。つがうとまきをとく。ふとがくへまく。様を便ひきを
も。あらは津字のことをあらはす。あらはす。

つるぎ つるぎ

つるぎとつるぎと。まきをとく。路をまくを
も。ばうじと。やがて人ふつまくをとく。怪しきをとく。つるぎと。
人よつまくをとく。ばうじと。まきをとく。被遣さ。被遣さ。とくとく。御
くわ。えんまく。ばうじと。まきをとく。とくとく。とくとく。とくとく。
とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。
とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。
とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。
とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。
とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。
とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。とくとく。

経へまく。りとく。物を擲ぐるとくも。経へ
まく。とく。そはまく。そはまく。ちがまく。まく。とく。まく。
とく。まく。のまく。まく。まく。

こそ

かくとく。かくとく。とく。かくとく。とく。かくと
く。かくとく。かくとく。かくとく。をとく。とく。とく。とく。とく。
とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。

まく

三

を。よくも見えぬ。みづかはおひこを出でやか。文ひ教く。
りそか。

三

と。うとうと。あはれまふよ。て。うそひ。まやうか。
『うも』たまへて。落とづれ。よもじくとよきま
まくまく。りづきも。お泊く。おもむくと。おれを。おもむく。
まひもゆく。まくまく。文も。『うと』よづきと。ば。おもづて。皆
うそらへとかへ。と。りづき。まくまくと。よれへ。思ひく
や。けちのまくまく。おうへん。おもむく。おこ
もへ。おの泡く。おもづき。文も。おうへん。おもづき。おも
も。おもづき。

八
のまきに。人うき。あらへて。宿ひえ。那とやくふりまつた。あれ
かうそふりまつた。まきとぞれ。おうへて。サキと。まきを。あらへた。
おあとちへて。おきとば。さくべの。你よひ。べきねだん。

ゆ

九
ようそと。うそと。まきを。おどの。あよ。ゆもむよもよもよもよも。これ
よようそ。よだれ。アの。人。文。も。ようと。うそと。まきを。そゆとかく。こ
こ。た。そ。まきを。うそ。文。うそ。宿。うそと。うそ。ゆを。ふを。り。ふ
うそ。うそと。まきの。ゆ車。まきを。かや。お耳。かまめ。宿。お
ま。ま。かくへ。うそと。まき。うそ。うそ。ぐ。うそ。

ど

八
集書ふりまつと。うそ。那人の。宿。うそと。宿。うそ。か

四二六

のめく。うそ。うそ。うそ。うそ。おひ。おひ。宿。うそ。うそ。うそ。
おひ。宿。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。

漢文。某日。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。
うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。

か

とて集意三相さま。下うしもそりを。まほじゆきよりをひ
うと。あびきむれうけをとく。五感のはあてめりひる
こきと。む月の十日ちまくふき。すがりの持尾。紀有常
ひそかよもみまきと。恨もてうづらうてえ。うねうとお
くひのむす。アホ人のえきと。おさがとくまく。やうの「お」
とくまく。やうのわゆもそそくを。まうよたえふへ。監を
とく。ゆうとうくばのく。かくめをとく。まきとく。を
をとまくして。浮かのとく。寝くじ。寝くよ。こくす
お寝あ。スヨウの寝サド。文くよ。ゆふくらむとく。おひあじ
けがりとく。大いきよのうくを。まくとく。

まくがくの絶ひ。引下しもくうだり。おのめくうをふ。つう
ぬく。おのきをとく。うく。うく。おのきのうく
文くとをとく。うく。うく。

よして。のくと。とく。とく。とく。とく。
鎮小くとく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
まくよけとく。おもむくふすく。やくね。とく。とく。とく。
りへうだり。月うく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。

國の親づれあるべし。

ゆゑふ

ゆゑふよ。と圓て切りておてふと
ゆゑふよも。けりゆゑふをいへ。洞のかへりゆゑふ。
よとひへるかへり。おえゆゑふ。夜のかへりゆゑふ。かへりゆゑふ。
ゆゑふと御事す。こねかへりゆゑふとくふゆゑふ。うそくおへりゆゑふ。信の
さまをへりゆゑふとくふゆゑふ。

のとへりゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふ
とくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふ
とくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふとくふゆゑふ

あはれ。大はり。國の親づれ。あはれ。おとづれ。おとづれ
おとづれ。おとづれ。おとづれ。おとづれ。おとづれ。おとづれ。
おとづれ。おとづれ。一おとづれ。一おとづれ。二おとづれ。三おとづれ。
おとづれの夢も。おとづれの夢も。おとづれの夢も。おとづれの夢も。

かく

かく。ゆゑふを。ゆゑふを。ゆゑふを。ゆゑふを。ゆゑふを。ゆゑふを
ゆゑふを。ゆゑふを。ゆゑふを。ゆゑふを。ゆゑふを。ゆゑふを。ゆゑふを
とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。
とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。
とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。
とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。とばく。

とく。とへ回トシテ。つひやく。かく黒うすヒラス。とく回ヤ
うき御も。ほひざね。かくすくよあらざりあること。思ひを
てわいかざま。ふくらんじゆけじゆとあらゆる。とく
ひまんと。つとくとひまん。こちをとねまく。あ。

かくよそ同じておもふ中へあし。おの向と文の向へまわるつゞ
行ひと。今の人をほめたりのうへ。うち向へ。文の向へ
へぬと。文の向へとあらへ。ふもとへ。ゆゑへをえらぶと
えの向へ。文の向へとまへ。車と小車とよも、うち向へとまへ
車とよも。やうゆあへとまへ。うち向へ。文の向へとよも

のあぐりと多。今ハ西ひ出でやう。ニニとらが。但
文ういふ事。おまか。事も。事も。事も。おまか。物のとおさ
れども。事も。おまか。事も。海を走るよつてある。そく
きの文がぬくよつてある。又おまか。海を走るよつてある。事も
て。一も。事も。海を走るよつてある。事も。事も。事も
うのこまか。事も。事も。事も。事も。事も。事も。事も
うのこまか。事も。事も。事も。事も。事も。事も。事も。

アラモコノ泡

今の人。消息えと持てかど。アラモコノ泡。事も
事も。アラモコノ泡。事も。アラモコノ泡。事も。アラモコノ泡
アラモコノ泡。アラモコノ泡。アラモコノ泡。アラモコノ泡。

も傳主。もと。伝傳。也。と。也。也。也。也。也。也。也。
も今お伝文。也。も。も。も。も。も。も。も。も。

」て。往後この歌は多々歌ひたる。其のとよく者で
かべて。はるへはえよ。はるあじひのむかとよ。すまなとよ。

薄文始の文

を世人の文よ。おもふはおのづをねよ。まきかみがくら
も。ほねうはまどこども。おもむかしめよ。さざふ
て。つことかきとよきかくとよきぞ。そりよこすは薄文也。や
の頃例。助字。おもむかくとよきぞ。いとまきかくと
ほくまくとよき。おもむかくとよきぞ。いとまきかくと
ほくまくとよきのあとよきぞ。かくとよきぞ。いとまきかく
とよき。俗人の耳よ。おとく。おもむかくとよきぞ。いとま
きかくとよき。おもむかくとよきぞ。おもむかくとよきぞ。

五

ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・
ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・
ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・
ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・
ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・
ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・
ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・
ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・
ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・
ハ・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・く・

時代の歌を詠う

今人の文へ。時代のことときよ。中昔のゆく歌をすう。ま
良公より詞も。そりやうす。又歌を記す歌の文も。むけふと
うせり詞をす。そりやうす。歌を記す歌の文も。むけふと
ひく。むくとくむくとくのことをうごめか。

古より今と思ふ人
先一神乃文と云ふ古ノ文
研ふるを後ろを學
て古ノ文をきく石井ハリ
解ておきの事あれば
ゆええりとせらる唐
とぞりへ文ノ中トかん
とむれシヤト云者と
ギトビトヨアリと云て
るく黒川先生也

壽美能吉藏

天保十四卯年六月開版

藝州廣島

書林

井筒屋忠八郎

大阪高眾稿三丁目

秋田屋彦助

三都

江戸日本橋通壹町目

須原屋茂兵衛

同 墓橋通貳町目

山城屋佐兵衛

同

須原屋新兵衛

同芝神明前

和泉屋吉兵衛

同

岡田屋嘉七

同兩國横山町

和泉屋金右衛門

同淺草茅町貳町目

須原屋伊八

京都寺町通松原

勝村次右衛門

同 三條通寺町

丸屋善兵衛

慈齋橋通安堂寺町

秋田屋太右衛門

書肆

叢行

